

Melco Management Accounting Research Discussion Paper Series

執筆要領

公益財団法人 メルコ学術振興財団

この執筆要領は、メルコ学術振興財団が公式HP上で提供するディスカッションペーパーである **Melco Management Accounting Research Discussion Paper Series** (以下,DP) に投稿される論文の執筆に関するガイドラインです。DPの作成に際しては、この執筆要領にしたがって論文を作成して下さい。

なお、この執筆要領は、社会科学の分野で英語論文を執筆する際に標準とされる APA スタイルに基づいて作成されています。この執筆要領で規定されていない部分に関しては、APA(The American Psychological Association: アメリカ心理学会)のウェブサイト (<http://www.apastyle.org/>)を参照して下さい。

1. 原稿の言語 英語とする。
2. 原稿の種類 原稿は表紙と論文の2種類を作成する。
 - (1) 表紙には、論題(主題と副題)、氏名、所属、執筆者連絡先(連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス)を記載する。共同論文の場合には、代表者の連絡先を記載する。なお、提出された原稿に当財団が登録番号を付与してDPの表紙を編集・作成する。
 - (2) 論文には、論題、氏名、要旨(800 words 以内)、キーワード(5項目程度)、本文(図・表を含む)、注、参考文献を記述する。必要な場合には、補遺や謝辞を記述できる。
3. 原稿の書式と頁数
 - (1) 原稿の作成には、ワープロ(Microsoft Word)を使用する。
 - (2) 用紙はA4サイズ、横書きで、1頁当り 52文字×36行=1,872文字とする。
 - (3) 上下左右の余白は3cmとする。
 - (4) フォントは Times New Roman とする。
 - (5) 文字の大きさは、表1のとおりとする。
 - (6) 「表紙」は2頁、「論文」は50頁を上限とする。ただし、メルコ学術振興財団が認めた場合には、制限頁数を超えることができる。
 - (7) 書式設定は、別紙1を参照すること。
4. 主題と副題
 - (1) 主題と副題は各単語(名詞、形容詞、副詞)の最初の文字を大文字する。下線は引かない。
 - (2) 主題と名前の間には12ポイントの大きさに3行空ける。

- (3) 名前と要約の間には 12 ポイントの大きさを 3 行空ける。
 (4) 要約のキーワードの間には 12 ポイントの大きさを 3 行空ける。

表 1 文字の大きさ

区分	サイズ/フォント	配置等
主題(タイトル)	14 ポイント/太字	センタリング
副題 (サブタイトル)	14 ポイント/太字	:を付けて, センタリング
執筆者	14 ポイント/太字	センタリング
所属	12 ポイント	センタリング
要旨	14 ポイント	センタリング
キーワード	12 ポイント	左寄せ
本文	12 ポイント	左寄せ
節	14 ポイント	センタリング
項 (節内の小見出し)	12 ポイント	左寄せ
参考文献	14 ポイント	左寄せ
注	12 ポイント	左寄せ

5. 本文

- (1) 本文は、節・項で構成し、以下のように付番する。

(例) 4 ——

4.1 ——

4.1.1 ——

- (2) 本文は、参考文献の終わりまで 1.5 行の間隔にする。
 (3) 段落のはじめは 5 スペース字下げ(インデント)をする。
 (4) ビリオド(.), コンマ(,), コロン(:), セミコロン(;), クエスションマーク(?), エクスクラメーションマーク(!)の後は、1 スペース空ける。
 (5) 引用符を使用する時は、ビリオドやコンマを引用符の前に挿入する。(例: „ ”)
 (6) 本文は、5 スペース空けて書き始め、均等割付を行う。

6. 本文中の引用

引用に際しては、著者名、出版年、引用ページ数を記載し、カッコでくくる。文献の文章をそのまま引用する場合には、二重引用符(“ ”)で示す。

例 単独の著者の引用 (McKinsey, 1924, p.123), (Anthony, 1965, pp.11-22)

例 二人の著書の引用 (Johnson & Kaplan, 1987, p.456)

例 原文そのままの引用 “We are The Melco Foundation.” (Horngren, 1978, p.007)

7. 参考文献

- (1) 使用した文献はすべて論文の最期に参考文献リスト(References)として記載する。文献は第一著者の姓(ファミリーネーム)をアルファベット順に並べる。

- (2) 文献は次の順序で表記する。
 単行本：著者（編者）名，出版年，書名（副題とも）・版，出版された都市名，発行所。
 論文：著者名，発行年，論文名，収録書物の著者（編者）名，収録書物名（または雑誌名），巻数，号数，ページ数。
- (3) 著者が複数いる場合は，資料にあるのと同じ順序で，姓とイニシャルを記述する。それぞれこの著者をコンマで区切る。著者が示されていない場合には，文献の題名から書き始める。
- (4) 出版年は，著者の記載の次に，括弧（ ）を用いて出版年を記述する。括弧を閉じた後にピリオドを入れる。出版年が不明な場合は，(n.d)と記載する。
- (5) 書名と雑誌名は斜体(イタリック)にする。また書名等は主題，副題ともに最初の単語の最初の文字のみを大文字とする。
- (6) 日本語の文献の場合には，書名や論文名の英語表記に続いて，翻訳した英文名を括弧[]内に記載する。
- (7) 本文と参考文献の間は3行空ける。参考文献と1つ目の文献の間は1行空ける。2行目以降の字下げ(インデント)は5スペースとする。

例

Anthony, R. N. (1984). *Management Control Function*. Boston, Massachusetts: Harvard Business School Press.

Kazusa, Y. (2014). *Case book kanri kaikei [Case book in management accounting]*. Tokyo: Shinseisya.

Noreen, E. (1991). Conditions under which activity-based cost systems provide relevant costs. *Journal of Management Accounting Research*, 3(4), 159-168.

Simons, R. (1987). Planning, control, and uncertainty. Bruns, W. and Kaplan, R. (Eds.). *Accounting and management: Field study perspectives*. Boston, Massachusetts: Harvard Business School Press, 339-362.

Tanaka, T. (1990). Toyota no “kaizen” yosan [Kaizen budgeting in Toyota]. *Kigyo Kaikei*, 42(3), 379–386.

※この執筆要領は，『メルコ管理会計研究』執筆要領をベースにして，次の文献を参照して作成されています。

APA (2011). 『APA 論文作成マニュアル [第2版]』前田樹海他訳，医学書院。

Ratzlaff, G., 田林葉他.(2006).「APA スタイルによる英語ライティングのフォーマット」立命館大学政策科学部。

ページ設定およびインテンドと行間隔（設定サンプル）

